安全性の向上：ZF の統合安全技術

- **ドライバーによる運転から自動運転まで、全ての操作状況下で安全性と快適性を向上**
- **外側に展開するサイドエアバッグを装備した世界初のプリクラッシュ保護システムは、側面側突時、乗員が受けるダメージを最大 40%低減**
- **車の乗員およびその他の道路使用者の安全に寄与する、予防安全および衝突安全技術**

フリードリヒスハーフェン/クレットヴィッツ発；車の乗員と歩行者など全ての道路使用者を、可能な限り効果的に守るサポートとなる安全・快適な新機能の開発を通して、ZFはモビリティの安全性向上を進めています。その例が、外部サイドエアバッグを装備した世界初のプリクラッシュ・プロテクション・システム「自動フロント衝突回避（Automated Front Collision Avoidance）」です。このシステムは、緊急時、自動的に車線変更を行います。

ZFは安全技術の開発にあたり、まず可能な限り事故を未然に防ぐことを考えます。また、事故が不可避となった場合には、自動運転かドライバーによる運転かに関わらず、いかに影響を最小限にとどめるかが重要です。それを実現するため、車の内外環境をモニターするセンサー類、高性能なプロセッサー、車両の動作制御および乗員保護機能のためのアクチュエーターなど、ZFグループは自動車サプライヤーの中で最も幅広い製品ラインナップをもっています。

先進支援システムはドライバーの負荷を減らし、能動的に事故を避け、命を守るように設計されています。ZFのシステムは、通常はドライバーがリラックスして運転できる環境を提供する一方、緊急時には安全性を高めるように機能します。こうした働きは、特に自動運転からドライバーによる運転への切り替え時に重要です。ZFでアドバンスト・エンジニアリング・チームのセーフ・モビリティ・システム部門を統括するウーヴェ・クラスは次のように述べています。「当社のシステムは、乗員保護を最優先にしながらもシンプルさに重点を置いて開発されています」

自動危険回避
急ブレーキや急ハンドルなどが必要な緊急時には、高性能な運転支援システムがサポートします。「自動フロント衝突回避（Automated Front Collision Avoidance）」システムは、運転者による前方衝突事故回避が間に合わない場合、急ブレーキが可能か、回避するスペースがあるかを判断し、自動的に回避行動を行います。

ZF Friedrichshafen AG
Global Corporate &
Marketing Communications
88038 Friedrichshafen
Deutschland · Germany
press.zf.com

深刻な側面衝突事故における乗員保護
事故は避けられない場合もあります。特に側面からの衝突は乗員に大きなダメージを与えるケースがあります。ドイツで発生した乗用車の死亡事故のうち、およそ3分の1が側面衝突によるものです。この死亡率の高さは、左右のスペースが前後方向に比べて少ないことが原因です。ZFが開発した外部サイドエアバッグを組込んだ世界初のプリクラッシュ乗員保護システムは、側面衝突事故に乗員が受けるダメージを最大40%軽減することができます。これは、エアバッグがAピラーからCピラーまでの間に新たなスペースをつくり出すことで可能になります。このシステムは、高性能センサーが側面衝突事故を避けられない状況を認識した場合のみに作動します。

キャプション：

1) 統合車両安全（Integrated Vehicle Safety, IVC）を外部から見た写真と運転席から見た写真
2) ZF の「統合安全（Integrated Safety）」コックピットは、特に自動運転からドライバーによる運転への切り替え時に、直感的なインテリアデザインが安全性の向上に寄与することをデモンストレーションするために開発したコンセプト
3) 「自動フロント衝突回避」図解
「自動フロント衝突回避」支援機能は、緊急時、ドライバーによる回避操作が間に合わない場合、車に車線の自動変更を指示

写真/動画：ZF

本件に関するお問い合わせ先
Mirko Gutemann, Spokesman Integrated Safety and Passive Safety Systems Division,
Phone: +49 7541 77-960136, e-mail: mirko.gutemann@zf.com

Robert Buchmeier, head of Technology and Product Communications, Heritage Communications,
Phone: +49 7541 77-2488, e-mail: robert.buchmeier@zf.com

コーポレート・コミュニケーション　岡部志帆、中村典子
JapanPresse.TKY@zf.com

#MobilityLifeBalance
モビリティはもともと、多くの人にとって個人的で、自由に選択できるものでした。現在では渋滞、エミッション、事故、さまざまな制限のため、ストレスの原因となっています。個人が最適なモビリティソリューションを選択することはますます難しくなりつつあります。

ZFは**#MobilityLifeBalance**キャンペーンを通じて、より優れた、より持続可能なモビリティの提供に貢献するさまざまなソリューションを提案します。私たちの目的は、自動、快適、そして誰にでも手が届く、クリーンで安全なモビリティを世界中全ての人に提供することです。

詳しくは、ソーシャルメディア**#MobilityLifeBalance**、またはhttp://www.mobilitylifebalance.comを検索下さい。

ZF Friedrichshafen AG について
ZF は乗用車、商用車や産業機器の分野で世界をリードし、次世代のモビリティを可能にするグローバル・サプライヤーです。幅広いポートフォリオを揃え、主要自動車メーカー、モビリティプロバイダーやスタートアップ企業に対して、輸送やモビリティの分野のソリューションを提供しています。ZF は引き続きデジタル・ネットワーキングとオートメーションのシステム開発に注力し、くるまの「見て、考えて、動かす(see, think, act)」を可能にします。

ZF の総従業員数は約 14 万 9 千人、世界 40 か国に約 230 の生産拠点を展開しています。2018 年に ZF は 369 億ユーロの売上を達成しました。ZF では毎年、総売上の約 6 パーセント以上を研究開発に投資しています。